

一般質問での議員からの提言及び市当局の答弁



	政策的提言	提言要旨	当局の考え
1	バリアフリー浮棧橋の整備について	バリアフリーマリンフェスティバル世界大会ⅠN石垣が開催され、継続を望む声が多い。障害者等の乗下船のためバリアフリー浮棧橋を整備すべきである。	先進事例や既存施設改良の可能性、整備費用など導入に向けて取り組みたい。また、次期港湾計画の中でも調整したい。
2	市立図書館の休館日について	ゴールデンウィーク期間中の祝日は、休館日となっているが、市民の利用とサービスのため改善する余地があるのではないか。	県内10市中2市において、こどもの日に限って開館している事例もあることから、市民ニーズに応えるため、ゴールデンウィーク期間中の開館について、今後検討していきたい。
3	底地ビーチ及び米原キャンプ場の再整備について	底地ビーチ及び米原キャンプ場の施設は老朽化している。調理場やシャワールーム等の再整備の取り組みはどうなっているか。	更衣室・トイレ・調理施設などの整備力所、規模等を調査し、年度ごとの計画を策定後、オフシーズンとなる時期に順次改修・整備をしたい。
4	南ぬ島石垣空港バス利用者の利便性向上について	空港バス停がターミナルの端に設置されているが、公共交通の乗降位置はターミナル出入り口付近にあるべきで早急な見直しが必要である。	南ぬ島石垣空港のバス停留所については、これまでの停車位置よりターミナルビルの中央付近に移動を予定している。
5	新空港開港に伴う交通安全対策協議会の設立について	新空港開港に伴う通行車両増加への交通安全対策のため、石垣市・沖縄県その他の関係機関を網羅した組織の立ち上げと取り組みが必要と考える。	効果的な交通安全対策を講じるため、八重山署・沖縄県・交通安全協会・公民館等を網羅した仮称交通安全対策協議会を設立したい。
6	発達支援体制の構築について	乳幼児期から就労期までライフステージに応じた途切れのない支援体制構築の取り組みはどうなっているか。	発達支援連絡会の設立に向け取り組んでおり、新しい部署の設置や人員・予算確保のため、調査・研究を進めたい。
7	前立腺がんの検診について	前立腺がんは、肺がん・大腸がんの検診料と比べて割高となっているが、検診料の助成を行うことはできないか。	検診料の助成と治療のための医療費を考えれば非常に効果が高いと思われるため、できるだけ早く実施できる方法を考えていきたい。
8	口蹄疫侵入対策について	新空港開港後は入域客数も順調に伸びているが、新空港には未だに口蹄疫の消毒マットが設置されていない。口蹄疫の侵入対策について更なる取り組みが必要である。	現在、新空港における国内線到着ロビーへの消毒マット設置について、空港ターミナル株式会社と調整しており、早急に実施したいと考えている。
9	新栄町の船たまり場の進捗状況について	新栄町船たまり場の埋め立てが放置されており、大雨時には雨水が溜まり衛生環境が悪化し、事故の発生も懸念されることから早急に対策を講じるべきである。	埋め立ては平成26年度に完了する予定であり、雨水排水処理については工事再開時に対策を講じるほか、危険防止のため立ち入り禁止を徹底し、周辺学校へも周知したい。
10	危険家屋等の対策について	危険家屋等は、台風襲来時の倒壊や建築材飛散により近隣家屋への影響が懸念されるため、国土交通省の空き家除去支援制度の活用により早急な対策が必要である。	空き家除去支援制度や他の市町村の取り組みを参考にしながら予算をつけて早急に対策を講じていきたい。
11	ゴルフ場建設について	ゴルフ場建設は、観光客誘致に大きなインパクトがあるものの未だに見通しが立っていない。市有地の提供も含めて早急に決定すべきである。	民設民営を基本に企業や関係機関と調整し、早期建設に向け取り組んでいるところであり、市長の任期中に公表できる形にしたい。
12	絶滅危惧種など希少な動植物の保護対策について	希少動植物は、採集されインターネットで売買されており、取り返しのつかないことになる前に基本方針の策定など保護対策を強化すべきである。	希少動物の保護のため自然環境保全条例に基づく基本方針を今年度内に定めるべくスピード感を持って取り組みを進めたい。
13	放送大学分校の開校日について	放送大学分校の開校日については、大学側との日程調整も必要であり、早めの決定が不可欠である。	場所の確保に至っていないが、年度内に準備し、年度明けの開校、講座開設ができるよう取り組みたい。